

## オオアリクイの腸管閉塞について

関野 紬  
(よこはま動物園)

よこはま動物園では、オオアリクイ (*Myrmecophaga tridactyla*) (雄1頭) を飼育しているが、2021年2月頃、食欲不振と嘔吐のため、開腹手術を行った結果、小腸内にサブ運動場のコーキング材が部分閉塞していた事例があったので一連の経過について報告する。

当該個体はNo. 10: 雄(3才)で、2021年1月4日から食欲に波が見られるようになった。その後3週間にわたり断続的に嘔吐を起し、横臥している時間が通常より長くなっていたため、同年2月4日に麻酔下で診察を行った。レントゲン検査により、胃の膨満と水分の貯留が確認された。検査中に液体を嘔吐したため処置を中断し、2月7日に試験開腹手術を行った。腸管内にサブ運動場のコーキング材が閉塞していたため摘出した。その後容態は変わらず、14日に再手術を実施した。前回閉塞していたコーキング材と同じ物が、前回閉塞していた部分より下部の小腸内に閉塞していたため摘出した。術後3週間ほどかけて通常の食欲に回復した。